

新春交流会、懇親会レポート

[交流会] **藤原 勲**

日時：1月27日(土) 13:00~15:3分

場所：奈良市中部公民館5階大ホール

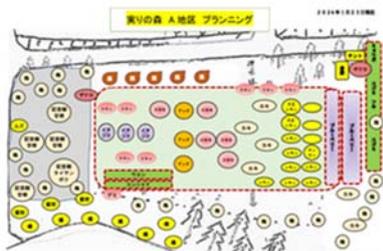
参加者：40名

奈良・人と自然の会はならやまプロジェクトの里山林整備事業(里山保全管理)、自然環境保全を通じて会員の親睦と総合研鑽を図り、地域社会に貢献することを目的としている。

交流会はならやまプロジェクトの中心となる5つのグループが現状の報告と今後の活動方針、それに伴う課題などを発表し、会員はグループの垣根を越えて質疑、意見交換をする場として開催された。冒頭、千載会長から、「里山」を保全するためにはどのグループも不可欠であるが、全体としてどのような活動となっているのかを時には理解・再確認する必要がある。昨年の「ならやまプロジェクト報告会」は若干消化不良であったことを反省しながら有意義な場にしたとの挨拶があった。



まず果樹グループ(発表者有元さん、豊田さん)から。実りの森はベースキャンプから離れており普段あまり目にしない場所であるが、イラスト配置図によって果樹の育成計画がわかりやすく説明された。



次にパトロールG(小島さん)の発表。四季折々珍しい草花の開花に合わせてならやまで行われる自然観察は草花の名前をほとんど知らない者にとっては楽しみである。また、自然教室の



一環としての学習支援活動は子どもたちに身近に自然と触れあって関心を持ってもらうと共に、地域との繋がりを大切にしているイベントである。

続いて景観Gは整備班・花班・ビオ班(太田さん・内河さん・中川さん・宝田さん・田



中さん)が発表。景観Gの活動範囲はならやま全般に及び、一年を通しての活動を写真で見やすく纏められていた。花班、ビオ班も少ないメンバーで活動されている状況がよく分かった。

続いてエコファームG(三瀬さん、青木芳一さん、吉村さん)が発表。①畑の場所が散らばっている②日当たりが悪く休耕している畑がある③野菜の種類が多い④夏場の水やりと雑草対策などが課題。

最後に里山G(山本さん、福田さん)の発表。計画的な部分皆伐と植樹による里山林の再生についてこれまでの取り組みを含めて地図上で説明されてよくわかった。倒木の撤去。薪棚の改築が課題。



共通の課題としては、①雑草対策②鹿などの獣害対策③会員の高齢化と減少④新規会員の獲得などが再認識された。

紙面の関係上ほんの一部しか紹介できなかったが、各グループを通して全体の活動を少しでも理解するいい機会であった。次の機会にはもっと多数の方の参加を期待したい。

(各グループ説明資料はHP会員専用サイトを参照ください)

[懇親会] **冨井 忠雄**

場所を一条本店(新大宮駅前)に移動して、16時より24名の参加により交流会の余韻を残しながら開催されました。まず、鈴木顧問の乾杯の音頭から始まり、各Gの皆さんが参加して、今日の結果についてとか、各自プライベートな会話などで盛り上がりました。